

令和 3 年度 公立大学法人北九州市立大学評価委員会 (第 2 回) 議事要旨

- 1 開催日時 令和 3 年 7 月 2 1 日 (水) 9 : 3 0 ~ 1 2 : 1 0
- 2 開催場所 北九州市立大学 北方キャンパス E - 7 0 1 会議室
- 3 出席委員 (五十音順 : 敬称略)
井上 洋美、権頭 喜美恵、勢一 智子 (web 参加)、安浦 寛人、
吉谷 愛 (web 参加)

4 議事内容

(議事に入る前に、議題 3 の非公開について全会一致で決定した。)

(1) コロナ禍における評価の考え方について

事務局から、コロナ禍における評価の考え方 (案) について説明し、案の通り決定した。

(2) 質疑応答 (主なもののみ記載)

ア 北九州市立大学から、資料 3 及び資料 4 について説明。

イ 質疑応答

○派遣留学やインターンシップの今後について

(委 員) 派遣留学やインターンシップの中止により、これまで大学が積み上げてきた伝統が途切れることになる。これは単年度だけの問題ではなく、今後の大きな課題となる。

○大学運営への学生の参画について

(委 員) 大学の運営に学生は参画しているのか。

(大 学) 直接、学生が運営会議等に出席することはないが、例えば女子トイレの改善やオープンキャンパス等、学生が直接かかわるものについては、学生が参画している。

(委 員) マネジメント研究科では、教職員と学生が運営に関し意見交換する場がある。同じような仕組みが学部生にもあれば良いと考える。

○IT の推進について

(委 員) オンラインへの切替などコロナへの対応が早く、特に Windows Virtual Desktop (WVD/現 AVD) の導入の早さに感心している。今後もぜひ AVD の展開を進めてほしい。

(大 学) 全学一丸となってオンラインへの切替に取り組んだ。WVD は非常に有益なので、他大学でもぜひ取り入れると良いと思う。

○不祥事への対応について

(委 員) 2018 年、2019 年と不祥事が続いたが、特に女子学生の多い大学として、これら不祥事を踏まえた改善策は。

(大 学) 不祥事対応は重要な課題と考えており、人権研修や問題のある教員への改善プログラム等を行っている。今年度は、多様な悩みを抱える学生への対応のため、ダイバーシティ担当の学長補佐を据えた。

(3) 評価 (案) の検討

非公開による協議のため、非公表。